

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。ここに第119期第1四半期の営業の概況をご報告申しあげます。

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかに回復したものの、債務危機の顕在化等による欧州の沈滞や新興国の成長鈍化のため、減速感が広まりました。わが国経済につきましては、エコカー補助金等や東日本大震災の復興需要等により国内需要が底堅く推移し、企業収益や個人消費に緩やかながら持ち直しが見られたものの、海外経済の下振れや長引く円高により不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、グローバルでの“成長”と高収益体質への“変革”を基本方針とした新中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を策定し、スタートいたしました。その一環として、資源開発需要の拡大とともに今後も成長が見込まれる市場に対応すべく、鉱山向け超大型ホイールの部品生産子会社である天津トピー機械有限公司（中国天津市）を設立いたしました。さらに、需要に応じた生産体制の構築、生産性の向上等のコスト改善にも引き続き取り組んでまいりました。

今後の経済環境の見通しにつきましては、震災復興需要等によるわが国経済の回復が期待されるものの、為替の動向や欧州債務危機を背景とした海外景気の下振れ等の懸念材料により不透明感が強く、当社グループを取り巻く需要動向等は予断を許さない状況が継続するものと思われま

す。このような経営環境下、当社グループは、新中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を推進する中で、成長が見込まれる海外市場に対して積極的に事業展開を図るとともに、国内のモノづくり基盤を強固なものとするこ

とすることで、環境変化に強い事業構造を確立し、企業価値の一層の向上に努めてまいります。今後も、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が表す「素材から製品までの一貫生産」の優位性を発揮し、トピー工業グループの一貫利益の追求とさらなる躍進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成24年8月



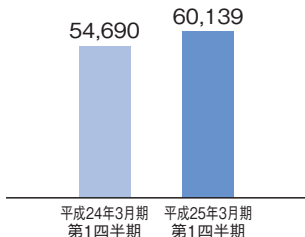
代表取締役社長

藤井 康雄

連結業績の推移

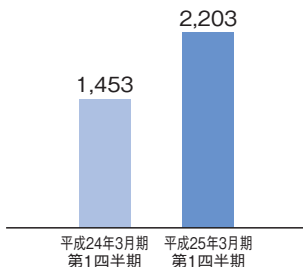
●売上高

(百万円)



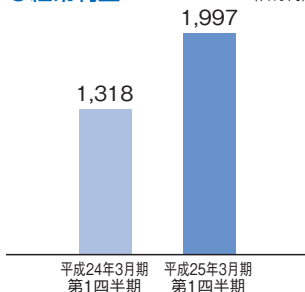
●営業利益

(百万円)



●経常利益

(百万円)

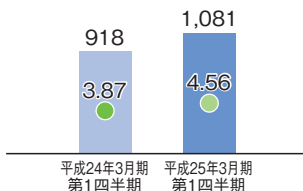


●四半期純利益 (■)

(百万円)

●1株当たり四半期純利益 (●)

(円)



第118期：平成24年3月期

第119期：平成25年3月期

四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	第118期 (平成24年3月31日)	第119期第1四半期 (平成24年6月30日)	科目	第118期 (平成24年3月31日)	第119期第1四半期 (平成24年6月30日)
資産の部			負債の部		
流動資産	111,936	110,739	流動負債	83,261	84,721
固定資産	100,891	102,801	固定負債	46,470	45,621
有形固定資産	71,930	75,257	負債合計	129,731	130,343
無形固定資産	1,525	1,476	純資産の部		
投資その他の資産	27,435	26,067	株主資本	86,739	87,345
資産合計	212,828	213,540	その他の包括利益累計額	△4,349	△4,892
			少数株主持分	706	744
			純資産合計	83,096	83,197
			負債純資産合計	212,828	213,540

セグメント別の営業概況

鉄鋼事業

売上高 17,581百万円  営業利益 391百万円 

電炉業界は、震災復興需要が遅れるとともに製品市況が下落し、引き続き厳しい環境となりました。

このような状況下、当社グループは、土木・建築向け鋼材の販売数量の確保に努めましたが、販売価格の下落や自動車・産業機械部品事業に供給する建機用足回り部品向け鋼材及び造船向け鋼材需要の低迷の影響を受けました。

自動車・産業機械部品事業

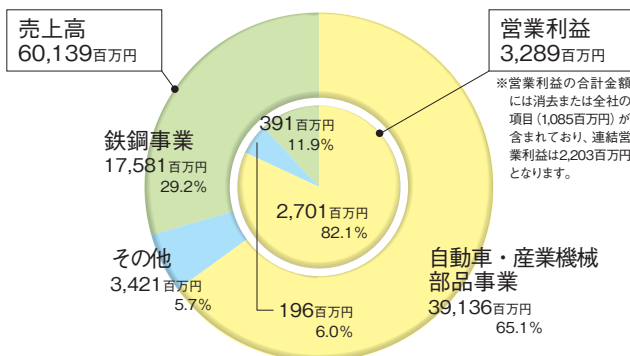
売上高 39,136百万円  営業利益 2,701百万円 

建設機械業界につきましては、金融引き締めによる中国需要の低迷の影響があったものの、国内の震災復興需要等に支えられ、引き続き堅調に推移いたしました。また、自動車業界は、寸断されたサプライチェーンの復旧とエコカー補助金等の効果が相俟って、国内生産台数は前年同期を大幅に上回りました。

このような状況下、当社グループにおきましては、建機用足回り部品は中国需要の減少の影響を受けたものの、鉱山向け超大型ホイールの販売が引き続き堅調に推移いたしました。また、トラック用及び乗用車用ホイールとともに需要を着実に捕捉し、販売が好調に推移いたしました。さらに、あらゆる改善諸施策にも継続して取り組んでまいりました。

その他

売上高 3,421百万円  営業利益 196百万円 



連結業績の予想

	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 当第2四半期 累計予想	平成25年3月期 予想
売上高	240,534百万円	123,000百万円	253,000百万円
営業利益	10,554百万円	5,400百万円	11,500百万円
経常利益	7,304百万円	4,900百万円	10,500百万円
当期純利益	3,918百万円	2,600百万円	5,700百万円
1株当たり当期純利益	16.52円	10.96円	24.03円

配当の状況

	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 予想
第2四半期末	2.00円	3.00円
期末	2.00円	3.00円
合計	4.00円	6.00円



敷地面積 1,808千㎡ 従業員数 730人 (単体・2012年3月末現在)
生産品目 一般形鋼、異形形鋼、異形棒鋼／建設機械用履板／合成
マイカ／探査・点検ロボット

豊橋製造所は、当社グループ最大の生産拠点です。最大の特色である「素材から製品までの一貫生産」の最上流工程に位置する製鋼設備を有していますが、このたび、コスト競争力強化などを目指す新鋭化に着手いたしました。この新鋭製鋼設備の本格稼働は2015年4月を予定しています。

豊橋製造所では、徹底した品質管理のもと、他社では生産できない異形形鋼や一般形鋼を製造し、さまざまな産業分野に供給しています。また、この異形形鋼を用いて建設機械用履板も生産しています。この履板は、顧客の高い信頼性を得て、OEM世界シェアは50%以上を占めています。そのほか、化粧品などの原材料となる合成マイカの生産工場や明海発電株式会社の火力発電所、探査・点検ロボットをはじめ、技術開発を進める研究開発センターを有しています。

